



犬・猫用バイトリル®

2.5%注射液

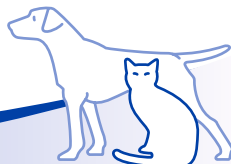
動物用医薬品

注射用エンロフロキサシン製剤

犬・猫用



50mL



使用にあたっては添付文書をよく読むこと

犬・猫用バイトリル2.5%注射液の有効成分であるエンロフロキサシンは、ドイツ・バイエル社が開発した世界初の動物専用フルオキノロン系抗菌剤であり、バイトリル（Baytril）の名称で世界55カ国以上において販売されています。

●特長

- 抗菌スペクトラムが広く、グラム陽性・陰性菌に対し、殺菌的に作用します。
- 細菌細胞のDNAジャイレースに特異的に作用して増殖を阻害しますが、動物細胞のDNAには直接作用できないため、動物に對しては安全です。
- 皮下注射後速やかに吸収され、各組織・臓器へ高濃度に移行します。
- 水性製剤であるため注射しやすくなっています。

●成分及び分量

- 本品100mL中に、エンロフロキサシン2.5gを含有する。

●効能又は効果

- 有効菌種：本剤に感受性の下記菌種
ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、シュードモナス属、ステノトロホモナス・マルトフィリア、アシネトバクター・カルコアセチクス

- 適応症：犬及び猫の尿路感染症

●用法及び用量

- 1日1回体重1kg当たりエンロフロキサシンとして5mgを皮下に注射する。

安全にお使いいただくために一よく読んで理解してお使いくださいー

【一般的使用】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- (2) 本剤は第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。
- (3) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- (4) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (5) 本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。なお、それを反復する投与は避けること。

【使用者に対する注意】

- (1) 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 本剤は強いアルカリ性（pH約11）であるので、皮膚、飲食物についた場合には速やかに水洗いすること。
- (3) 本剤が入った場合には多量の流水（水道水）で十分に洗った後、医師の診察を受けること。

【犬及び猫に対する注意】

- 1 制限事項
大量投与により幼若犬で関節障害が認められたため、本剤は12ヵ月齢未満の成長期にある犬には使用しないこと。
- 2 副作用
(1) 本剤の投与によりまれに流涎、虚脱等があらわれることがあるので、異常があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
(2) 本剤の投与によりときに嘔吐を認めることがある。
(3) 本剤は注射部位にときに硬結、脱毛、瘡痕等を起こすことがある。
(4) 猫において、本剤の投与により失明等の視覚障害が認められた報告がある

●その他の留意事項

※他の注射剤等と混合して使用しないこと。

ので、異常が認められた場合は投与を中止すること。

3 相互作用

- (1) 類似化合物で、テオフィリンとの併用により、テオフィリンの血中濃度を上昇させるとの報告があるので、併用する場合にはテオフィリンを減量するなど慎重に投与すること。
- (2) 類似化合物で、非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用により、まれに痙攣が発現するとの報告がある。

4 適用上の注意

- (1) 本剤は一回の投与が多い場合又は連続投与する場合は注射部位を変えること。
- (2) 本剤は10日を超える投与を避けること。

【取扱上の注意】

- (1) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等にに従い処分すること。
- (2) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等にに従い処分すること。
- (3) 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 食品とは区別して保管すること。

【その他の注意】

本剤は、ナリジクス酸高度耐性株に対して効力を示すが、フルオキノロン高度耐性株に対しては効力を示さない。

® はドイツ・バイエル社登録商標

製造販売元（輸入発売元）

バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒100-8265 東京都千代田区丸の内1-6-5

www.bayer-ah.jp

Bayer